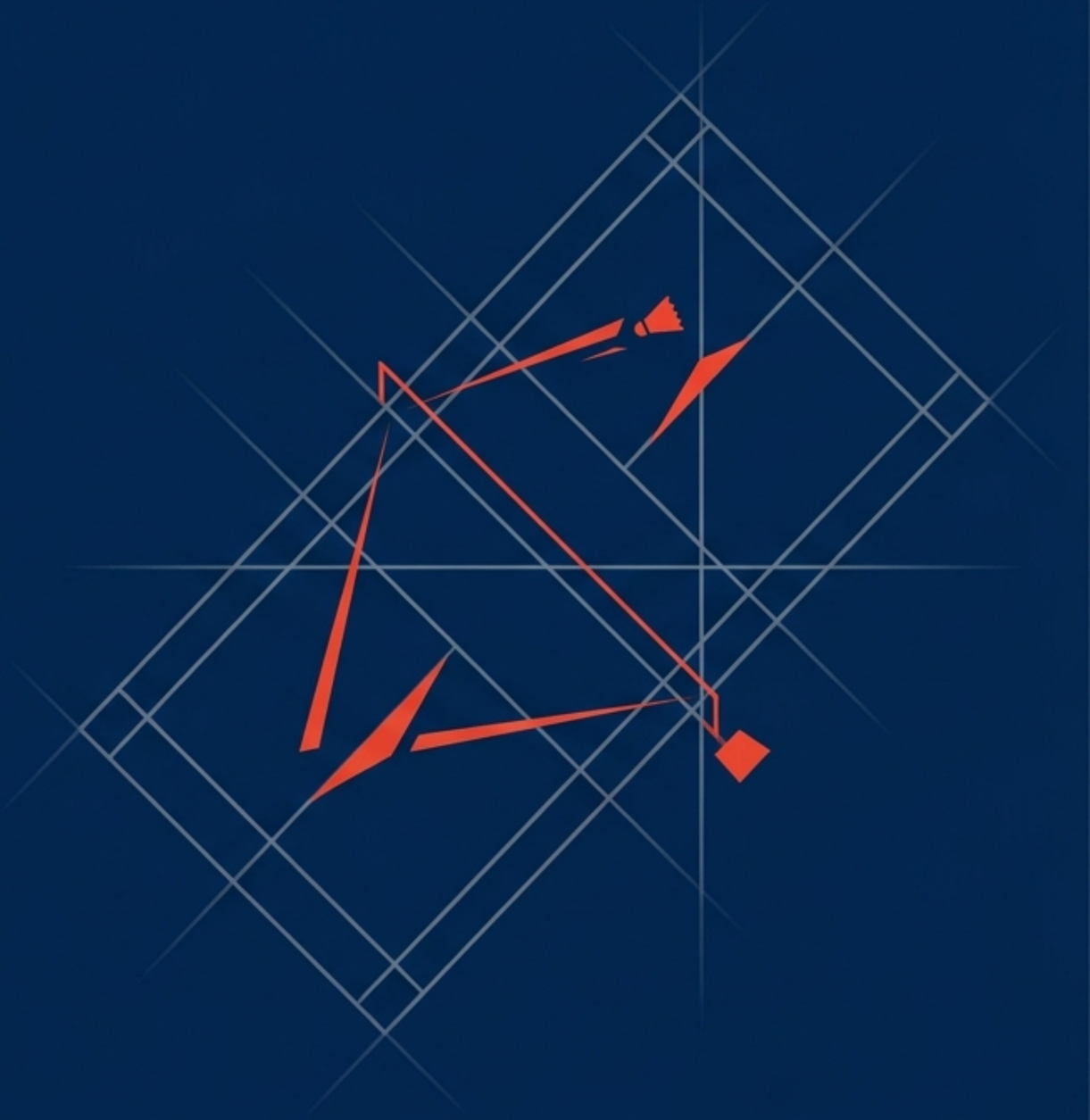
「勝つ」ことを、目的にしない。

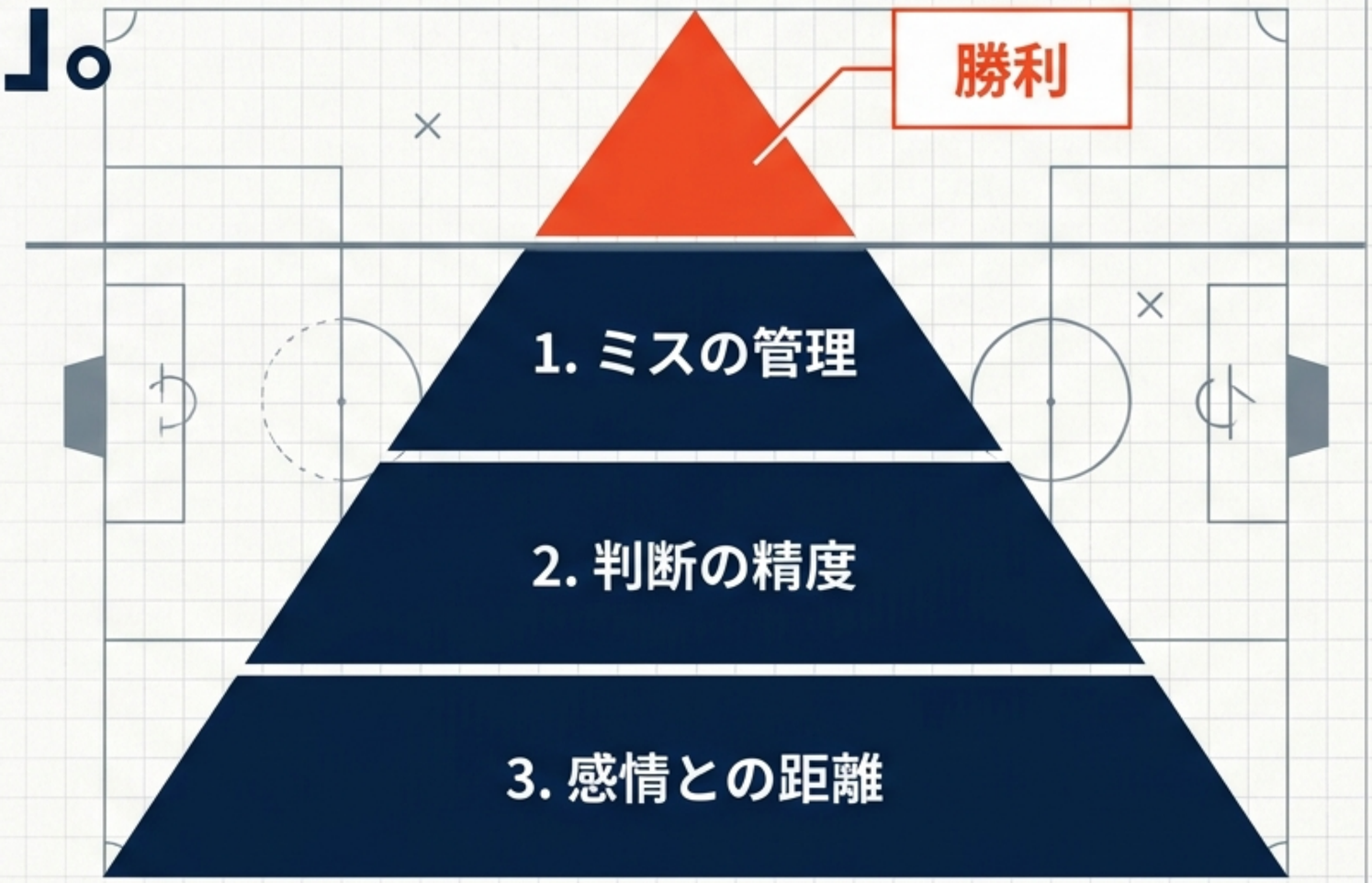
思考と哲学からアプローチする、
新しいバドミントン教室のカタチ —— PHOENIX愛知



Gemini Notebook

勝利は「狙うもの」ではなく、「帰着するもの」。

試合で勝敗を分けるのは、
才能や気合ではありません。
その場での「選択の質」です。
勝てる状態を緻密に設計することで、
勝利は自然と帰着します。



Gemini Notebook

なぜ、伸び悩むのか。
アプローチの根本的転換。

	従来の指導	PHOENIXメソッド
目標	試合での勝利	**勝てる状態の再現**
練習	個人の技術向上	**練習という「作品」の共同製作**
指導	正論もどき・努力の強要	**哲学・言語化・寄り添い**

Gemini Notebook

練習は、全員で作る「作品」である。

この3つのサイクルが連動することで、仲間のパフォーマンスを引き上げ、全員が対等な世界で高め合うことができます。



Gemini Notebook

欲望より、本質を。

錯覚の排除

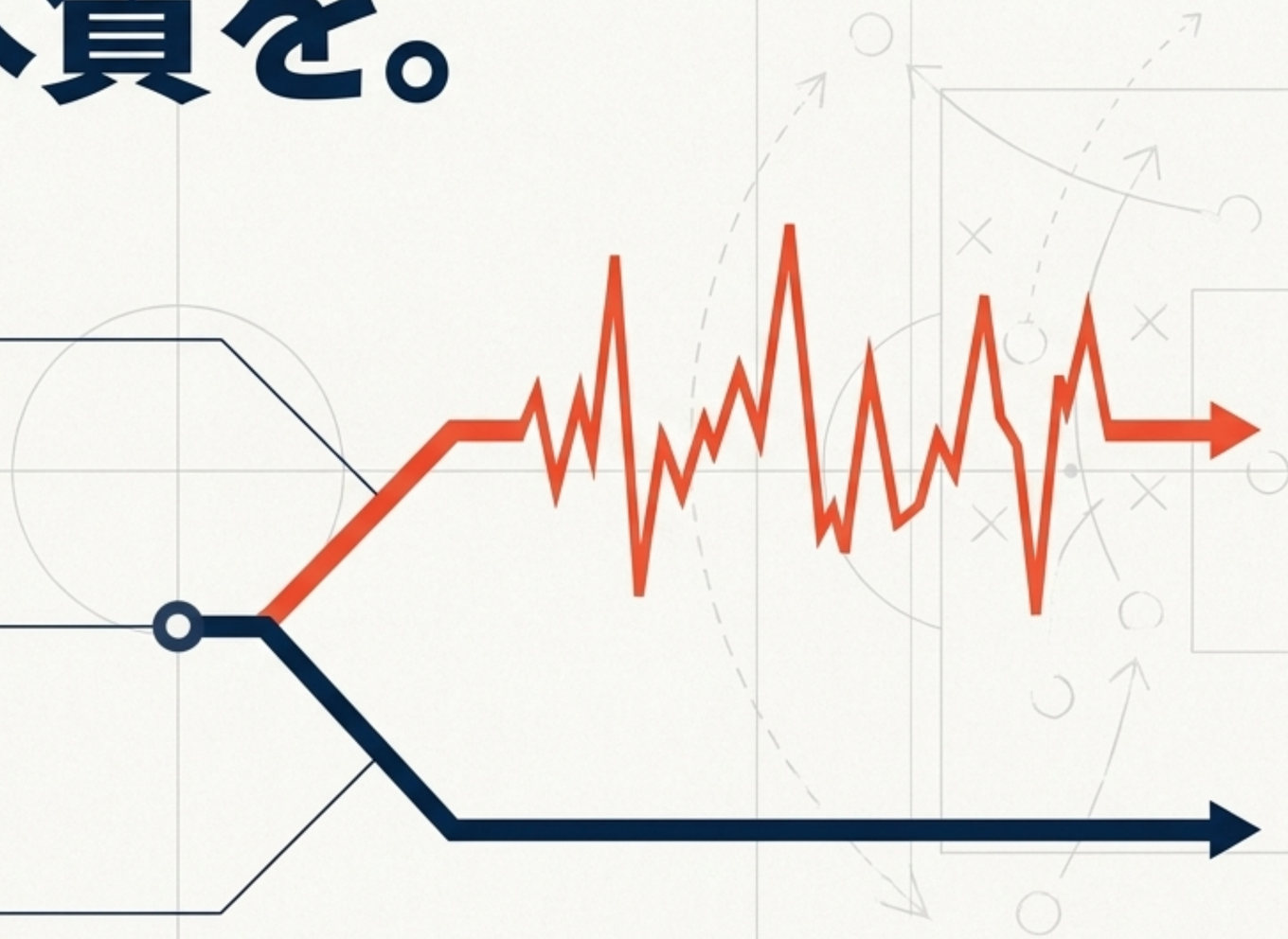
ピンチは大してピンチではないし、
チャンスは大してチャンスではないと意識する。

選択の基準

エースショットなどで得られる瞬間的な快感より、
自分がどうありたいかを意識して選択する。

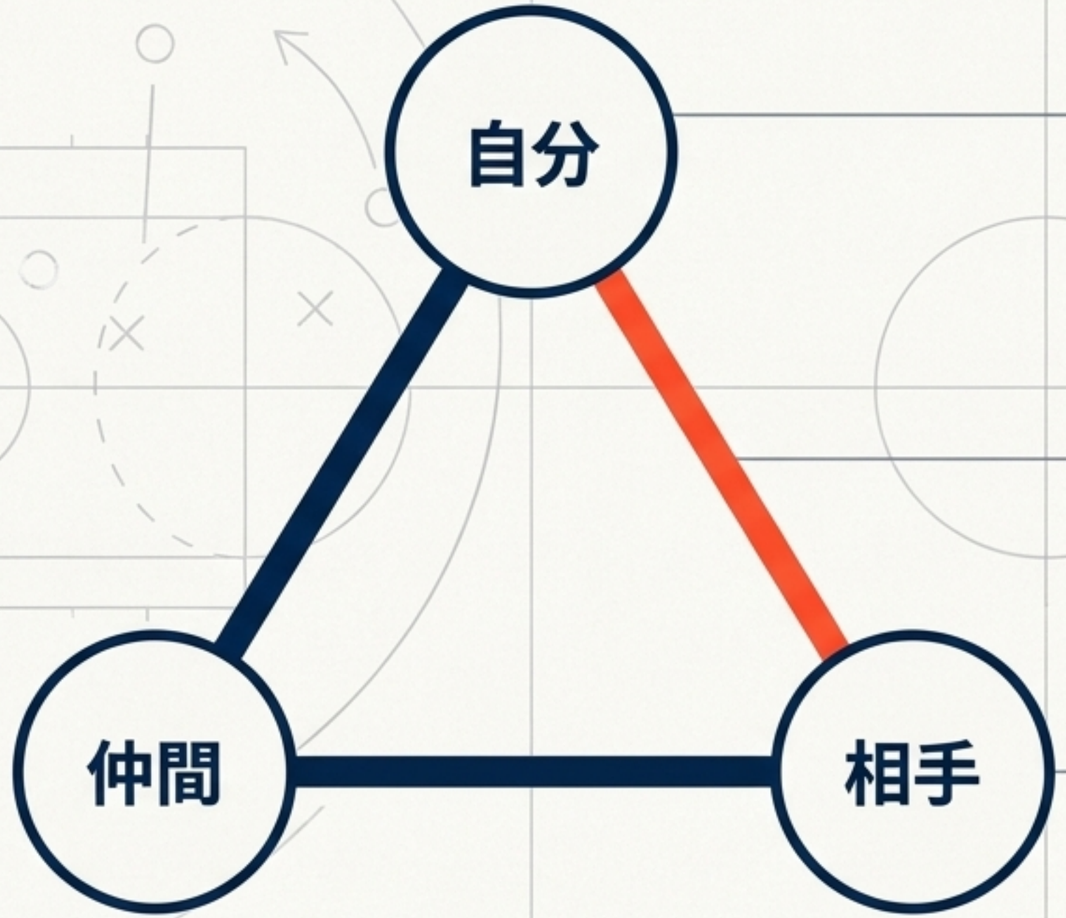
感情の変換

納得できないプレーをした自分を大声で叱責し、
イライラを力に変える。



Gemini Notebook

対人競技力：他者を知る技術。



他者理解

自分と他者の考えは異なるということを知る (他者への興味を高める)。

言語化

感覚に頼らず、技術や価値観を具体的な言葉にする。

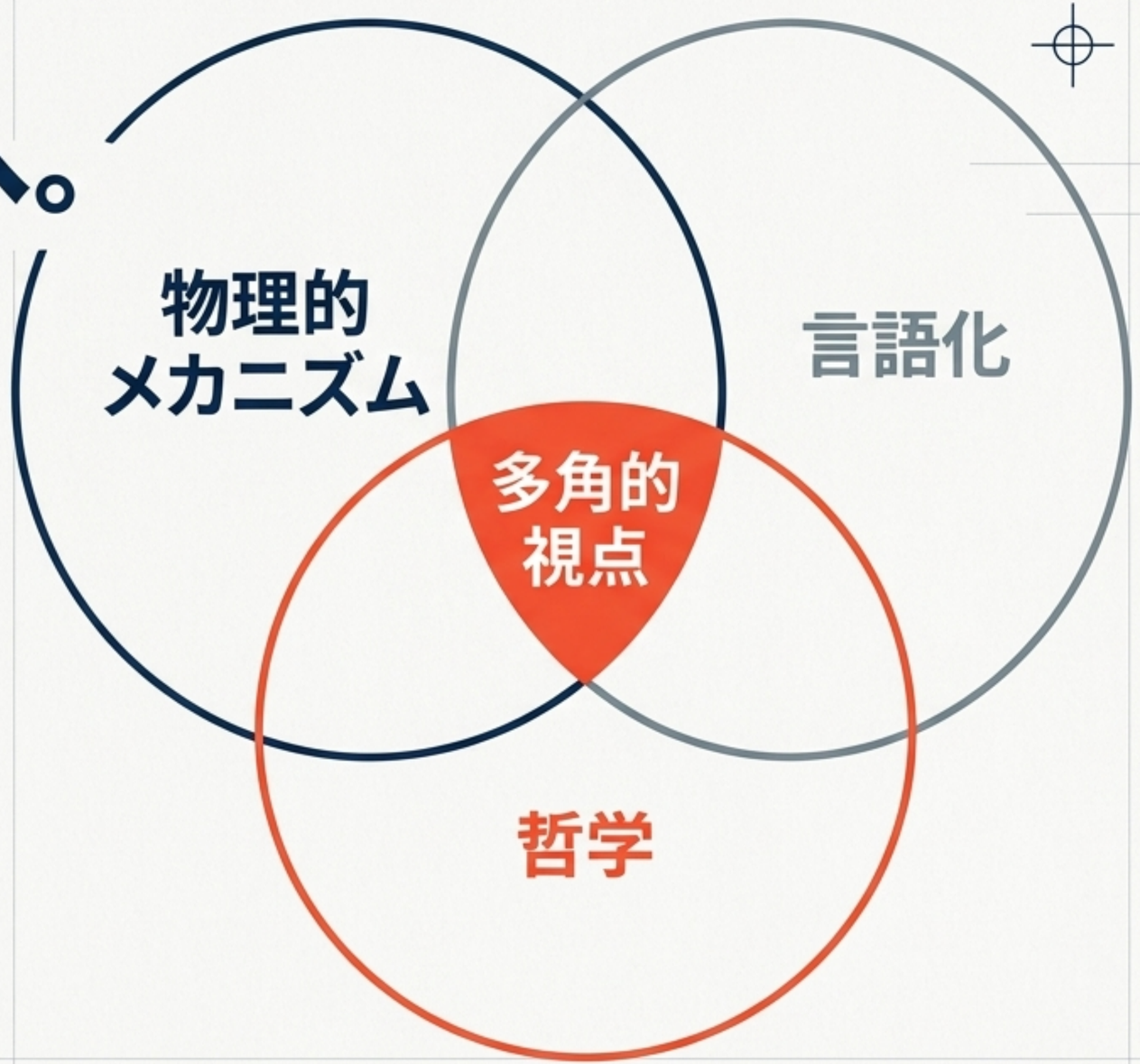
ペルソナ

プレッシャーを管理するため、普段からコート上での「性格」を演じる。

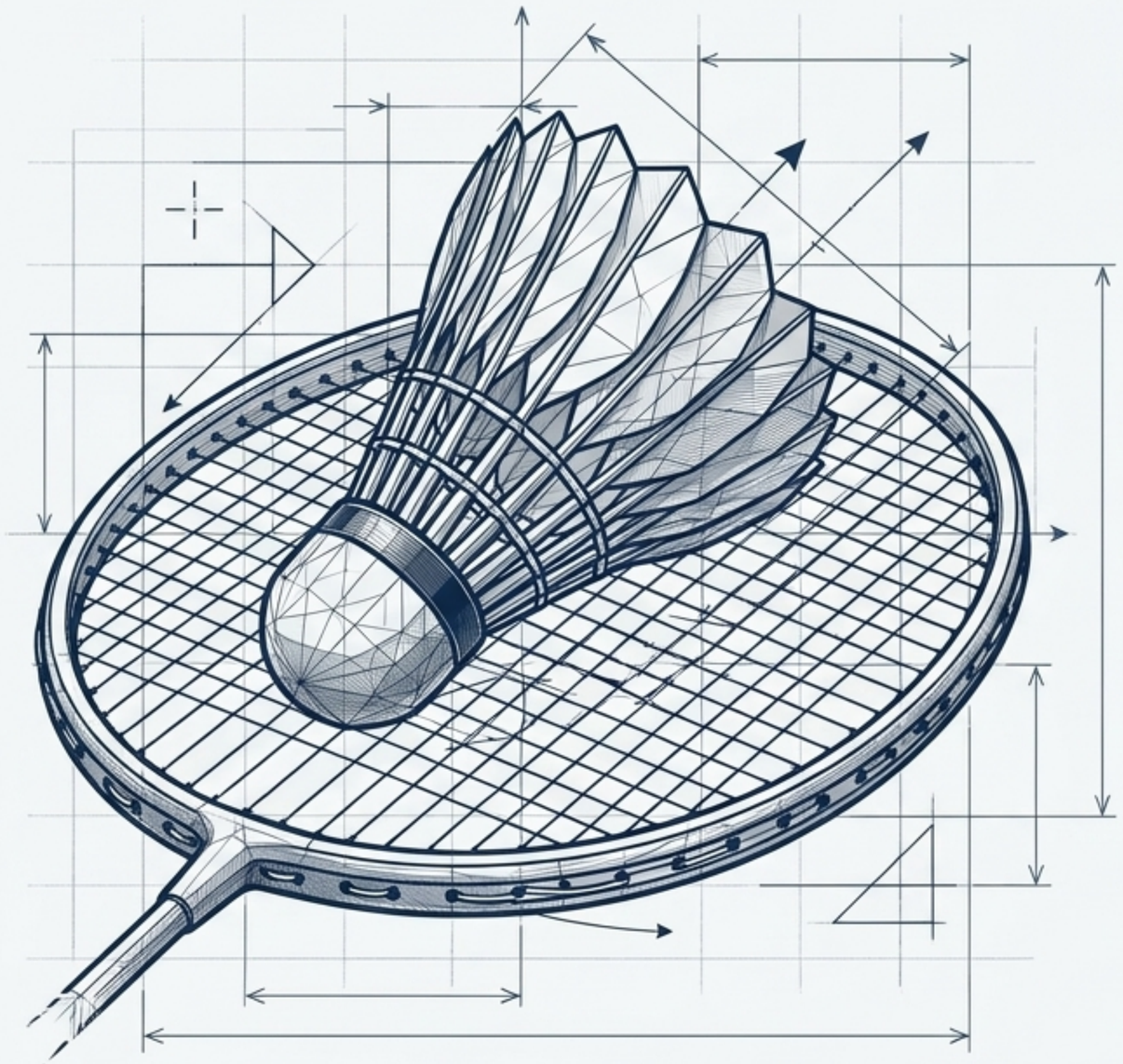
Gemini Notebook

「見る」だけでは、到達できない領域へ。

選手の悩みに合わせ、
オンライン・オフライン・講義などの
多彩なフォーマットで、
幅広い視野からの学びを提供します。



Gemini Notebook

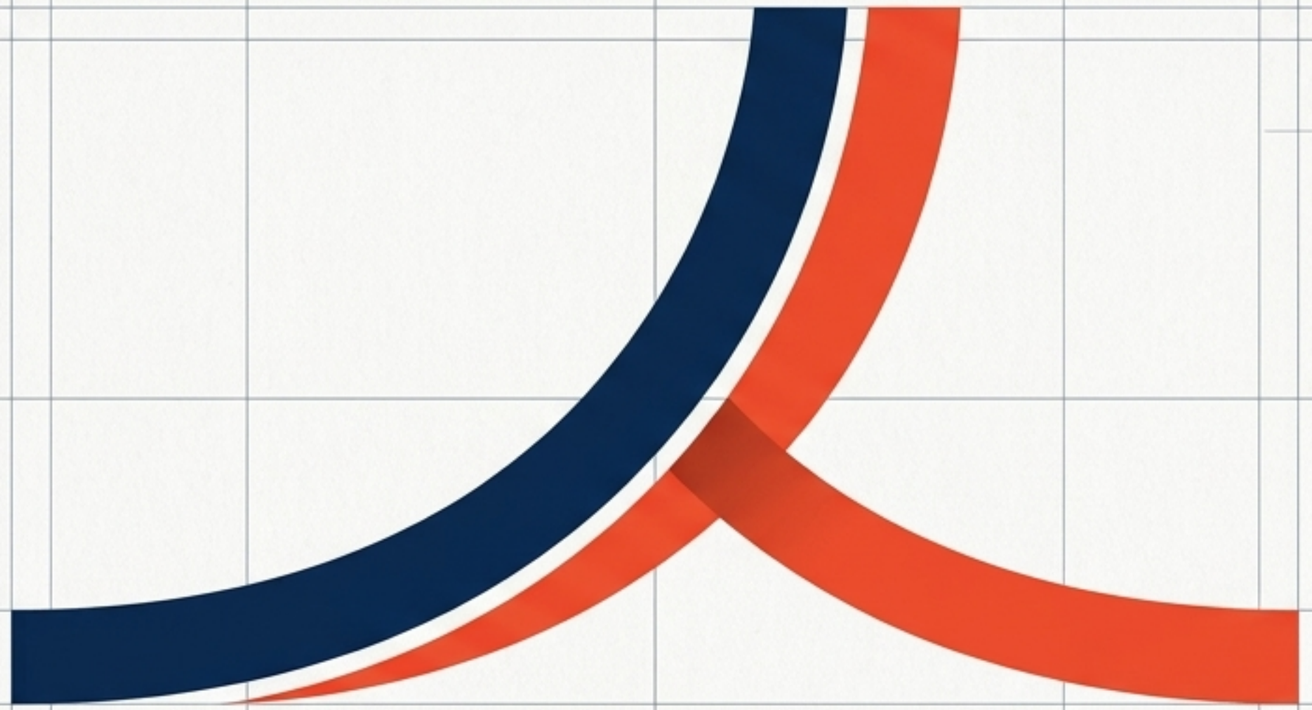


「好き」でなければ、深くは潜れないば、深くは潜れない。

私たちは、選手側に努力を強要することはありません。向上心の育成は、指導者の仕事ではないからです。一番大切なのは「バドミントンを好きになってもらうこと」。好きじゃないと、深く追求しようとしないし、努力もできません。

Gemini Notebook

答えを押し付けず、共に歩む。



「人を育てる」を第一に

一方的に正論もどきを押し付けない。

千差万別の悩みに対応

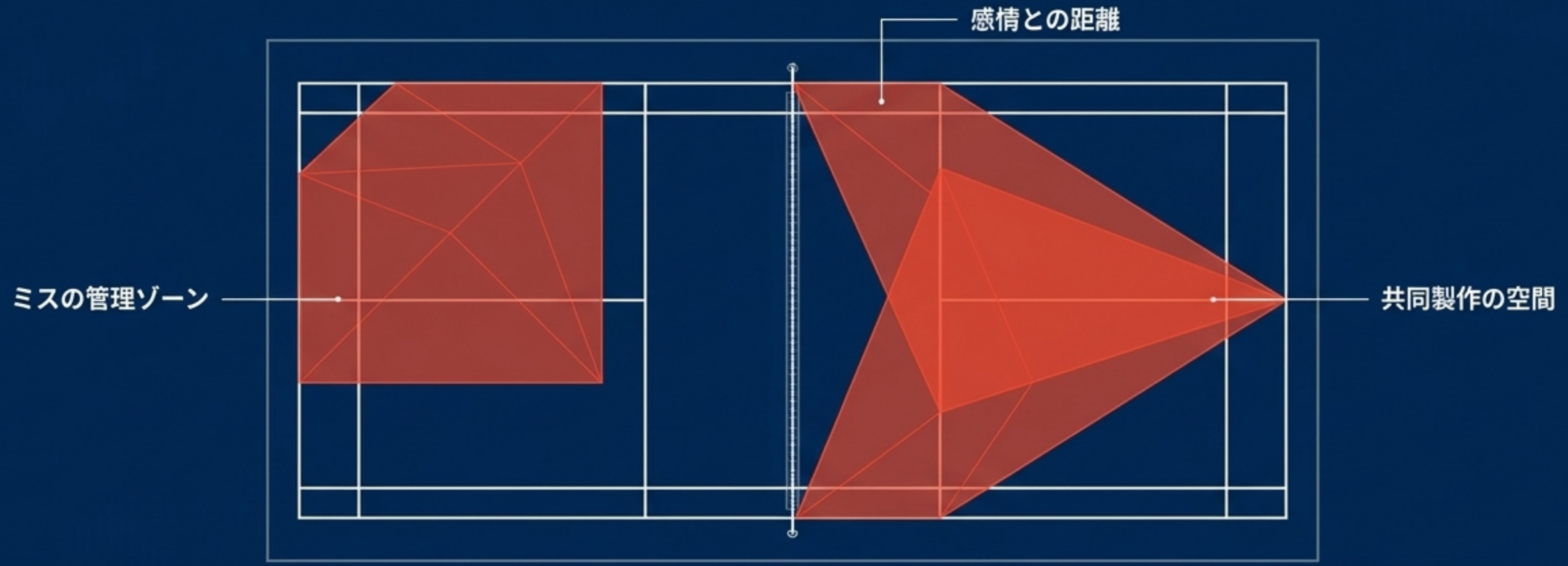
全く真逆の悩みを持つ選手もいる。
一人ひとりの話をしっかり伺う。

寄り添うサポート

これまでの選手経験を活かし、落ち込みやすい精神面も含めて共に解決へ導く。

Gemini Notebook

コートは、思考を映す鏡。



哲学を持ち、心を管理し、相手と共同製作を行うとき。コートは単なる孤独な闘いの場から、
知的かつ身体的な「勝てる状態」を設計する空間へと変わります。

Gemini Notebook

思考から、バドミントンを見直してみませんか。

一人で練習していて伸び悩みを感じている方、
考え方からバドミントンを見直したい方へ。

体験レッスン・無料メニュー受付中


WEB: phoenix-aichi.net


TEL: 080-6910-0479




選手も指導者も、力を合わせて上達しよう。

Gemini Notebook